

10月9日～

光岳

黒崎高生

山名	光岳 (2,592m)	山行名	個人山行
ルート	芝沢ゲート～易老渡～易老岳～光小屋（泊） 光小屋～光岳（光石）～光小屋～イザルガ岳～易老岳～易老渡～芝沢ゲート		
山行日	2021.10.9（土）～10.10（日）	天候	曇り
参加者	参加者：CL黒崎、SL藤本、吉澤、西川、田中、土岐、平尾 合計：7名		
ルート概略図	コースタイム		
	地名	時：分	地名
	京田辺	発 21:00	光小屋
			発 07:05
	芝沢ゲート	着 03:10 発 06:15	イザルガ岳
			着 07:30 発 07:35
	易老渡	着 07:30 発 07:35	易老渡
			着 14:00 発 14:00
	易老岳	着 13:40 発 13:50	芝沢ゲート
			着 15:05 発 15:20
	光小屋	着 16:45	
			京田辺
		着 22:00	
山行報告			
<p>日本百名山のひとつ静岡県と長野県の県境にある南アルプス最南端の光岳に行ってきました。8日21時頃京都を出発し約6時間かけて光岳と聖岳の基点となる芝沢ゲート駐車場に到着しました。少し仮眠して6時に出発1時間20分程林道を歩く。登山口から易老渡まで、いきなり5時間の長い急登と樹林帯が続き寝不足も重なって1時間程到着が遅れた。その日のうちに光岳・光石に行けず下山日の早朝5時出発で光岳山頂と光石まで行きました。今回も完璧な「てんくらA」でしたが見事に裏切られ山頂でも終始ガスの中だったので富士山や名峰の数々が見れなかったことは残念でしたが、ここまで来れたことに心より感謝しています。</p> <p>光小屋では5名がテント泊、2名が避難小屋で泊まり身体を休ませる事ができ翌日は前日行けなかった光岳と光石へ行きました。下山スタートが1時間遅れましたが、ほぼ歩行時間どおり駐車場に到着。</p> <p>長距離の車移動に長～い急登と重たい荷物ではありましたが最後まで全員一緒に登れて良かったと思います。ただ行きたいだけで希望を出して計画をしました。手軽に行ける山ではありませんが、参加の皆様ありがとうございました。</p> <p>ヤママップ記録 総距離 27km 距離 1日目 12.5km 2日目 14.5km 時間 1日目 10時間20分 2日目 9時間</p>			
ヒヤリハット：なし			

光岳テント泊 感想文

平尾 繁和

三遠南信道の天竜峡S Aで満天の星空を見て遠山川沿いの林道赤石線を芝沢ゲート駐車場に4時過ぎにつく。そこから登山口の易老渡まで林道を1時間半ほど歩き、易老岳まで標高差約1,400mの登りが始まる。コースタイムで約10時間。奥深い山で、100名山を目指す人で最後に登る人が多いというガイドブックの記載が分かる気がした。前夜発、仮眠後に約1,400mの登り、約10時間のスケジュールにかなり躊躇があり不安がぬぐえなかったが、私にとって初の南アルプス南部で、世界のハイマツ群生地の南限、光岳手前のイザルガ岳は日本のライチョウ生息地の南限、そして天然記念物の亀甲状土があるゼンジガ原など魅力のある山域で、年齢的に最後の機会と考えて参加を決めた。先頭を自分のペースで歩かせてもらい、易老岳までの長い樹林帯の登りもミズナラやダケカンバ、ツガなどの巨木を見ながら、合間に見える色づきだしたナナカマドやダケカンバ、イタヤカエデ、ミネカエデ、ハウチワカエデの黄紅葉を楽しんで登れた。易老岳出発が13時50分、後半に入る。三吉平まで一旦下り、アップダウンを繰り返す。途中三吉ガレで右手に展望が大きく開け、登ってきた稜線が一望できた。16時頃の光小屋到着をめざしすすむ。三吉平の先から稜線を離れ涸れ沢のガレ場を高度差300m程登っていく。ダケカンバの黄葉がガスの中に浮かび美しかった。静高平の水場はガイドブックの注意どおり枯れていた。最後の登りを経てゼンジガ原の木道にでた。ガスがかかるなか天然記念物亀甲状土（アースハンモック）の不思議な姿を見ることができた。光小屋下でテント設営後、往復25分急な崖下へ水を汲みにいく。暗くなる中の段差のある登り返しがきつかった。戻ってすぐ食事をして寝袋に入った。夜間は時折風があり大きな音があったが、テントの中では薄いジャケット1枚ひっかけただけで寒くなかった。（10月なのに高温のせいもあるとは思いますが）翌朝3時半に声をかけてもらってテントから星空を眺めた。オリオン座や天ノ川がくっきり見えた。5時に出発、光岳とその先の白い石灰岩の光石に行ってから小屋に戻りテント撤収後、イザルガ岳に立ち寄り下山。テンキトクラスの登山指数はAであったが、夕方や早朝にはガスがかかり光石やイザルガ岳からの展望は得られず、ライチョウとの出会いがなかったのは時の運だと思う。易老岳から標高差約1,400m、コースタイム3時間30分の長い長い下りを慎重に足を運びみなさんと無事下山できたことは何よりの感激。弥山テント泊トレーニングのあと、体力不足を補うため醍醐山と桃山御陵の石段等でボッカ（15.5kg）を積み重ね、習慣としてきた山筋ゴーゴー体操とスロージョギングも初心に振り返り念を入れて行ってきた。ザック（80L）も20数年前のものが傷み背負い心地も悪く肩に食い込んだので新調したら体にフィットし肩も痛くならず安定して歩けた。底のしっかりした縦走用登山靴を履き、あわせて軽量化もすすめた結果、無事問題なく歩けた。夜通し運転してくれた運転手のみなさん、計画・準備してもらったCLやSLはじめ参加のみなさんのおかげで思い出深い山行ができとても感謝しています。下山後強化すべき課題もみつきり75歳までに行きたい山へ行くための足がかりをつかめた気がします。

ヤママップ記録（2日間通し）：26.3km、20.4時間、累積標高差3,048/3,042m

※遠山川の川原で見られた赤い岩は、赤石岳の名の由来になった赤色チャートという二酸化ケイ素（石英）を主成分とする堆積岩のようです。宇治の大吉山でも見られます。



芝沢ゲート



林道歩き 遠山川



易老渡登山口



面平 ブナ



キノコ



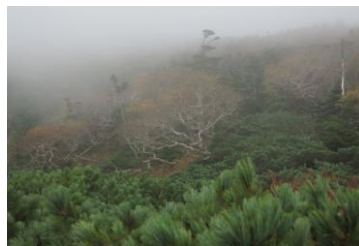
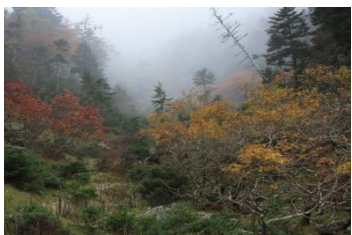
ツガ類の実



三吉ガレ



静高平への登り



ハイマツ群生



イザルガ岳分岐



ゼンジガ原 亀甲状土



光石



イザルガ岳山頂

吉澤 珠美

前日は車中泊、手を伸ばせば掴めそうな星空、闇が濃くてとても綺麗でした。明日の夜空への期待が高まります。小屋まではひたすら登りでいつになったら着くんだか…それでも苔むした登山道は南アルプスならではの風景です。ダケカンバとナナカマドの紅葉が美しい。翌朝ヘッドライトに照らされハイマツが蛍光色に浮かび上がって見えるのも幻想的でした。今回一番印象に残ったのは夜間の嵐のような風の音、それにはためくテント！あまりの音に目が覚めてしまいました。私のテントだけが飛んで行ったらどうしようと外に出てペグを打ち直しました。誰も出てこないし。強者揃いだ。他のメンバーのいびきを聞きながら2錠目の眠剤を飲みムリムリ寝ました。

CL、SL、同行の皆さまお世話になりました。ありがとうございました。

藤本 光代

参加された皆様お疲れ様でした。

天くらAで偉大な富士山見ると光石はどんなにキラキラしてるのかと楽しみにして行きましたが、ガスが多く見れなくて残念でした。百名山のひとつを又達成できたことは嬉しくこれで百は40座となりました。

テント担いで登りましたが、私とNさんだけ避難小屋に泊まり晩御飯もお喋りしながら食べてトランプも2敗だったけど、なかなか終わらないジジ抜きで楽しめました。

小屋で場所取りしてから10分と書かれた水汲み場まで行きましたが、疲れてるのか？凄くきつく感じられました。夜中に独りで怖くて泣きながら行ったトイレでしたが帰り夜空を見上げると満点な星空はとても綺麗でした。

帰宅してから、いつもより疲れが取れるまで少し長かったです。



ネットで購入した光岳のバッチ
次は右の聖か赤石か！

土岐 吉正

夜 9 時に京田辺を出発し、高速をひたすら走り、漆黒の闇の中に到着し仮眠して起きると駐車場は満杯で天気は予報通り晴れそう。いざ 400 メートルの駐車場から 2500 メートルの光岳へ！長～い山道を黙々と行進、時間は経過するけれども先は見え、木々の隙間からの光を浴びながら 2300 メートル付近になるとようやく山を見下す広大な景色が現れ、ひとまずホッと一息。遠くに見える色つき始めた木々を後にもう少し。しかし残念なことに上に行くにつれガスがかかって……。視界は真っ白の中で 10 時間をかけようやく目的地、避難小屋に到着、先着の登山者が多く小屋はほぼ満杯の中テント張り休息へ。

翌日は暗闇の中、出発、テカリ石に到着の頃は夜は明けたが日の出は見え、本当に残念。小雨が降る中少しづつ長い道のりを時間をかけ下山。標高が低くなるにつれ天気は回復、気温も上昇。ちょつと複雑な気分でした。そして長い 2 日半の旅路でした。運転手さん、本当にお疲れ様でした。

黒崎 高生

緊急事態宣言も解除され、人が少ないであろうと思われる光岳へ

山奥まで車で入って行く。深夜 3 時過ぎ芝沢ゲート駐車場に到着。駐車場は既に半分位埋まっている。少し仮眠して 6 時過ぎ駐車場をスタートし易老渡登山口へ

易老渡から登山開始。いきなり急登。つづら折りの道でも急登。度々休憩するが、その後もまだまだ急登が続く。樹林帯で展望もなく、時折木々の間から聖岳が見えるが、基本展望なしの急登。結局、易老岳までは、急登続きの登りだった。難しくないが、体力は必要、修行か？寝不足もあり食欲もなかったので昼は水のみだった。

易老岳からも樹林帯が続く。山が崩れた跡の所では西側に展望があり、魔女？🧙♀️がいた。

三吉平を過ぎてからは、岩場の登り。

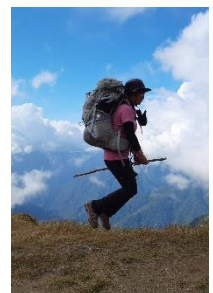
静高平でようやく開けたが、期待していた水場は枯れていた。光岳小屋近くの水場まで給水なし。1 時間遅れで光岳小屋に到着。テント組 5 名と小屋組 2 名に分かれ、テントを設営し各個に食事、就寝となった。

翌日 5 時出発で光岳とテカリ石に行ったが今日もガスの中

テントを撤収し下山。イザルガ岳で富士山を期待していたが、...

360 度の大展望が...富士山、恵那山、中央アルプス、聖岳 全く見れなかった。南アルプスも山がでかい。今回もデカさを再認識した登山だった。ただ最近身体の調子が、すこぶる悪い。動悸に息切れ、登山 5 年目にして初めて太ももとふくらはぎの筋肉痛。毎月 1 回両膝にヒアルロン酸注射、体力も低下し、体力の限界か!!

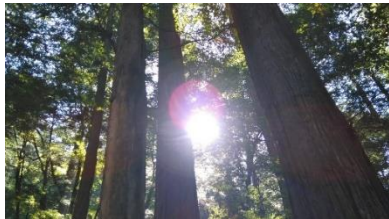
長い、高い登山やテント泊はこれで最後にしよう・・・しかし、まだ 61 歳あと 1 年だけ頑張ってみます。



魔女？の宅急便？



芝沢ゲート出発前



陽が眩しい

易老渡登山口



やっとこさ易老岳到着



滑落注意の標識あり
慎重に行けば大丈夫です



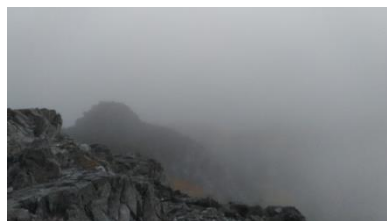
静高平 静岡高校山岳部の
キャンプ地だったそうです



着きました！木道
小屋まで、あと10分



何も見えませんが光石



光石から・・・



光岳登頂です



イザルガ岳で
360度の大展望はずですが



下山後、かぐらの湯で汗を流す